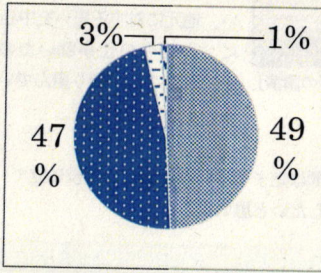


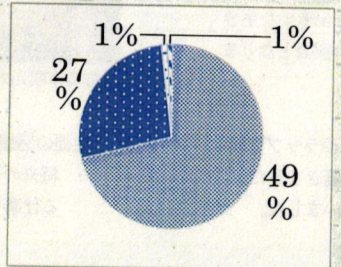
【実践のまとめ】アンケート結果

講師の話聞いて

(1)活動や講師の話から講師の思いを知ることができた



(2)活動や講師の話から働くことの苦勞や大切さを知ることができた



「弥富に人を呼びましょう」

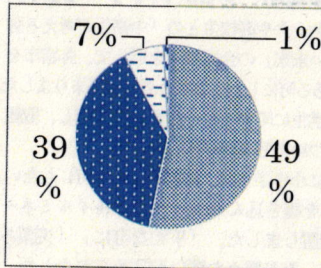


「こんな町になってほしいな」

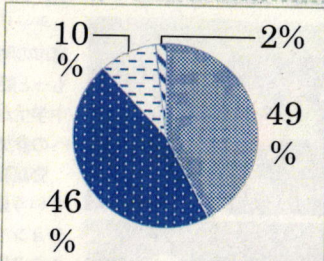


「完成が楽しみだな」

(3)将来働くことについて考えることができた



(4)また今回のような活動をしたり話を聞いたりしたい



■ 思う ■ おおむねそう思う □ あまりそう思わない ▲ 思わない

【生徒の声】

- ・ 働くことはただお金を稼ぐだけでなく、人とかわかり自分の夢や目標に向かって進んでいくことではないかと思いました。
- ・ 自分のやりがいを見つけたときに、働くことが「楽しい」と感じることができると思いました。将来、人の役に立って、楽しいと思える仕事に就きたいです。

【成果と課題】

成果

- ・ 講話や体験を通して、「働くこと」に対し意識を高めることができた。
- ・ 実際に「町おこし」の活動に参加をすることで、地域の中の1人であることを意識し、協力をしながら課題を解決していかなければならないことに気付くことができた。
- ・ 専門的な仕事をしている人の話から、職業の多様性を知ることができた。

課題

- ・ 体験や講話が自分自身の「働くこと」に対する意識を高めていくことにつながると考えられない生徒が1割ほどおり、それぞれかどのように意識を高めていけるかを工夫していく必要がある。



【インスタパネル】

自分自身を見つめ

自分の将来について考える生徒の育成

～小中高が連携し、地域とともに夢を育てるキャリア教育～



生徒に身に付けさせたい力

- 1 人間関係形成・社会形成能力
お互いの個性を認め合いながらコミュニケーションを図り、他者との協力的な学習を通して社会の一員として社会に貢献しようとする力
- 2 自己理解・自己管理能力
様々な活動から学んだことを、これからの自己の成長へ生かすきっかけとし、主体的に考え、行動する力
- 3 課題対応能力
将来職業に就くために自己の適性について知り、職業観を形成するための調べ学習を進める中で、課題追究のための情報を集め、課題を解決していく力
- 4 キャリアプランニング能力
進路選択の多様性を知り、将来設計をしていく中で、自己の役割について自主的・主体的に考える力

マナー講座(6月)



【マナー講座の様子】

マナー・身だしなみ・あいさつ・言葉づかいについて、分かりやすく教えていただきました。日常生活で実践するとよいマナーも学びました。

【生徒の感想】

- ・ お辞儀にも様々な種類があることを知りました。
- ・ 相手にいい印象を与える振る舞いについて知ることができました。

職場体験学習(6月)



【職場体験の様子】

地域の事業所において体験学習を行いました。次年度の進路選択や将来の職業選択における、よいきっかけづくりとなりました。

【生徒の感想】

- ・ 様々な作業を同時にこなす姿から、時間を大切にすることや、効率的に物事に取り組むことの大切さを学びました。

芸術のプロフェッショナルから学ぼう(6月)



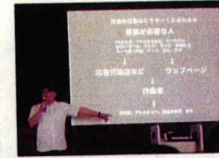
【プロダンサーの話】

愛知県芸術劇場へ行きました。演者や劇場の方から、仕事への思いを伺いました。プロフェッショナルな生き方を学ぶよい機会となりました。

【生徒の感想】

- ・ 出演者の方の話を聞いて、ダンスやラップを始められたか中学生頃だということに驚きました。自分が望むものなら頑張れると思いました。

キャリアトーク(7月)



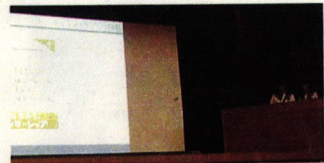
【弥富市観光大使の講演】

「働くこと」「町おこし」をテーマに講演をしていただきました。仕事に対する思い、地元に対する思いを中心に、なぜ今の仕事就いたのか、町おこしに取り組んでいるのかを学びました。

【生徒の感想】

- ・ 将来の目標は定まっていなくても、人の役に立てる仕事をしたいと思いました。

学校祭での取組紹介と中高意見交換(9月)



「未来に向けて何ができるのか考えます」



「自分たちも勉強になりました」

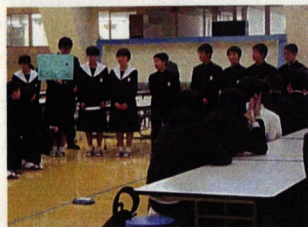
学校祭において全校生徒に向けて、これまでの学習の成果や今後の課題について中学生が発表を行いました。また、市内の高校生にもその発表を聞いてもらいました。

発表後、高校生の代表生徒から発表についての感想とさらによりよくしていくためのアドバイスを聞きました。

【高校生の感想】

- ・ 中学生が、しっかりとした思いをもって、地域や世界のことについて学習していることに感心しました。

「中学生が考える弥富市の明るい未来」の授業(11月)



「ようこそ弥富北中学校へ」

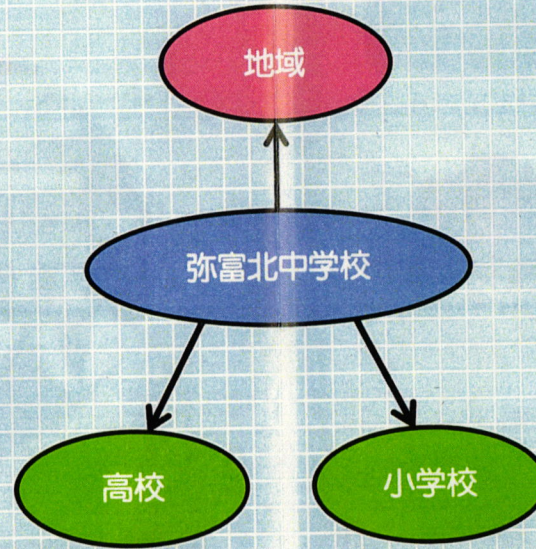


「どんな弥富市にしたい？」

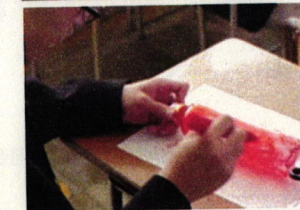
愛知黎明高校の探求コースに所属する1・2年生と合同で「弥富市の未来」について話し合いました。各グループに1名以上の高校生が加わり、「よりよい町」にするためにはどうしたらよいか、意見を出しました。お互いに刺激を受け、活発に話し合いが進み、いつも以上に考えが深まりました。

【生徒の感想】

- ・ 弥富市外から通学する高校生に他の市の様子を聞き、弥富市の未来を考える上でとても参考になりました。
- ・ 中学生が環境問題や人権のことも考えた意見をもっていることに驚きました。貴重な体験となりました。



町おこしプロジェクト「ペットボトルイルミネーション」(11~12月)



「どんな町にしたいかを書いてください」

キャリアトークや高校生との「中学生が考える弥富市の明るい未来」の合同授業を通して、弥富市をもっと魅力ある町にしたいという思いが高まりました。中学生が小学生に町おこしへの思いを説明し、取組への参加について呼びかけました。

弥富駅前に小中学生が「弥富をこんな町にしたい」という願いを書き込んだペットボトルイルミネーションを設置しました。「平和な町に」「笑顔あふれる町に」など様々な願いが込められました。

【生徒の感想】

- ・ なぜ、「町おこし」に取り組んでいるのかを伝えるように意識をしながら、小学生に説明を行うようにしました。

町おこしプロジェクト「パネル作成」(11月~12月)



「多くの人を楽しんでくれるといいな」

弥富の魅力を発信するための企画を考えました。高校生が「弥富のおすすめスポット」アンケートを作成し、小中学生が回答しました。その結果とイラストを合わせたインスタパネルを中学生が制作し、弥富駅前に設置しました。小中学生の思いが詰まった、新たな見所が完成しました。

【生徒の感想】

- ・ わたしたちの住む町は田舎だと思う。そんな町を発展させることはなかなか難しいです。どうしたら、魅力ある町として紹介できるかを意識し、活動を行うことができました。



「みんなの意見がパネルになりました」